

# 奥会津だより



冬の間編み上げた新しい蓑(みの)を雪に晒す。  
堅雪になった3月の初め、解け始めた雪面を30センチほど掘って蓑を敷き、雪をかぶせる。  
この雪が解ける頃、ゆっくりと雪水が通った蓑は柔らかく軽くなって、  
100年は持つといわれる耐久性と弾力をその身に纏う。

写真：平田春男



# 一枚の写真から

福島県立只見高等学校 二年 田代 芽衣

この写真の時は昭和四十年、曾祖父が七十五歳、祖母が四十歳、母が十歳で春先の雪が消える頃でした。つくる前の年に、山から採ってきたヒロコ草という草を日影に干してみのを作っていたそうです。みのは水にさらしておき、丈夫にしてから傘や農業の時に使っていた。昔はお金がありませんので物を買うよりも作っていたそうです。

相対前の写真なので見つけた時、祖母は「いやあ前のあんだな。懐かしいな。」とつぶやいていました。

今年、機会があったら祖母にみの作りを教えてくださいたいなと思えました。結構時間がかかるみたいで。



## 取材ノート

### 只見町で聞く



祖母 鈴木親子 さん  
(昭和6年9月生 81歳)  
孫 田代芽衣 さん  
(只見高3年 平成6年10月生 18歳)

ちゃんから引き継いで父ちゃん、男の仕事だ。山からヒロコ草採ってくるのも男の仕事。

Q..女の人はどんな仕事をしましたのすか？

親子さん..雪消えて働くべ、その仕事着。ハカマ、カリアゲツパガマというかホソツバガマというか。帯は機織りしたのを締めて、自分の着る物は自分で作った。そして手ぬぐいを2枚合わせて頭にかぶる。

Q..孫の芽衣さんが、ばあちゃんから話を聞いて本になりました。どうですか？

親子さん..いや、たまげた。たいしたもんだ、その写真のじいちゃん懐かしいな。(孫の芽衣さんに向かつて)ありがと、感激しました。じいちゃんも喜んでいんでねえがなあ。

Q..芽衣さん、春から都会に進学予定ですが、楽しみですか？

芽衣さん..只見の家を離れて、ホームシックになるかもしれません..。

Q..親子さんは、蓑作り、誰に習ったのですか？

親子さん..私は作んねえよ。女の人は作んねえの。じいちゃん父ちゃん、じい

写真・文責..菅 敬浩

# 親戚のおばちゃんから聞いた事

三島町立三島中学校 一年 小林 美幸



何十年も前の古いアルバムから出てきたこの写真についておばちゃんが話してくれました。  
「昔はみんなお嫁さいくまえにおはり(裁ほう)を習うように言われて、やったもんだ。嫁さいつて自分の子供の着る物ぐらい作るもんだと思つてたがらな。でも夏は畑仕事やんなねがったから冬の十二月から三月までしか出来なかつた。この写真はちょうど最後の日で自分で作つた

着物を着て写真をとつたんだ。それで、また来年会いましょうと言つてお別れしたんだ。」と語ってくれました。  
だから、この話を聞いた私はとてもすごいなと思ました。私達の時代はお店に行けばなんでもそろつていていう状況だから自分で自分の服を作つたという経験は全くありません。それに夏は家の手伝いと家族のこともしつかり考えているから立派だと思ました。だから私も家族の一員として少しでもだれかの役にたてるようになりたいと思います。

## 取材ノート



角田さん..ここに嫁に来る前

実家の柳津の藤で撮った写真で、お針(和裁)の先生宅前で。鈴木先生といつて、坂下の坂本の方からも習いに来ている人がいました。

Q..お針は、何年ぐらい通うのすか？

角田さん..それぞれがお嫁に行くまで習うの。私は二十歳で嫁に来たから三年ぐら

角田ハル子さん  
(昭和10年2月生 78歳)

小林 美幸さん 三島中2年  
(平成9年生 14歳)

行ったなあ。汽車に乗つて行って、坂下で洋裁も習つた、「太田屋」さんというお菓子屋さんの二階で習つた。

Q..鈴木先生はどんな先生でしたか？

角田さん..新潟から来た人で、ウチの親戚なのよ。当時五十歳ぐらいで、長生きされた。

Q..和裁で何を作りましたか？

角田さん..着物だよ。お嫁に来るのに、子どもの着物も何でも作つていたの。単(ひとえ)の浴衣から始まつて、布も木綿みたいのは作りやすいから。そして、袷(あわせ)、綿入れ、半てんや寝巻きなんかも作つた。ひと

重ねて、長襦袢と袷と羽織を重ねて着るだけじゃあ。嫁に来るときには、幾重ねももらつてきたんだわ、タンスにはいるほど。お針の出来ない人って居なかつた。

Q..和裁では、どんな道具を使つていましたか？

角田さん..針と糸、裁ち板、すじべら、チャコ...習いに行く人は「針箱」一揃え各自準備して持つて行つたんだ。クケ台もあつたなあ。これかケ台もあつたなあ。出来ねえなあ。

Q..おばちゃんから話を聞いてみてどうでしたか？

美幸さん..今は、自分で服を作るといふ経験がないので、あたたかさを感じられるよいうでいいな、と思ました。自分ですべてを作ることができたおばちゃんはカッコイイです。

写真・文責..菅 敬浩

# こども聞き書き百選 『じいちゃんありがとう』より



# 旬の風景

## 筵織り

春からの農作業に使う筵を織る。目が詰んだ丈夫な手織りは耐久性に優れていて、美しい。一枚分の縦糸は約百メートル。一本のワラをていねいに緯糸に引き入れて織り上げるまで、四、五日を要するという。雪解けまで続く作業も、残すところわずかになった。



# 雪の中の造詣

クスサン(楠蚕)の繭(スカシダワラ)



春先の雪渡りはたのしい。動物たちの足跡を追いかけてながら林に入ると、時折、5センチほどの美しい網状のスカシダワラに出会う。クスサンは栗の木に繭を作るのだという。



# 薬になる野菜 ショウガ

大さじ1杯ほどのすりおろしたショウガを入れた熱い紅茶は、冷えたからだを温めてくれる。これを一日2杯飲んでいるという88歳の女性は、風邪知らず、寒さ知らずで快適に冬を凌いでおられた。夏も欠かさず飲むことで、代謝のよい体になるという。

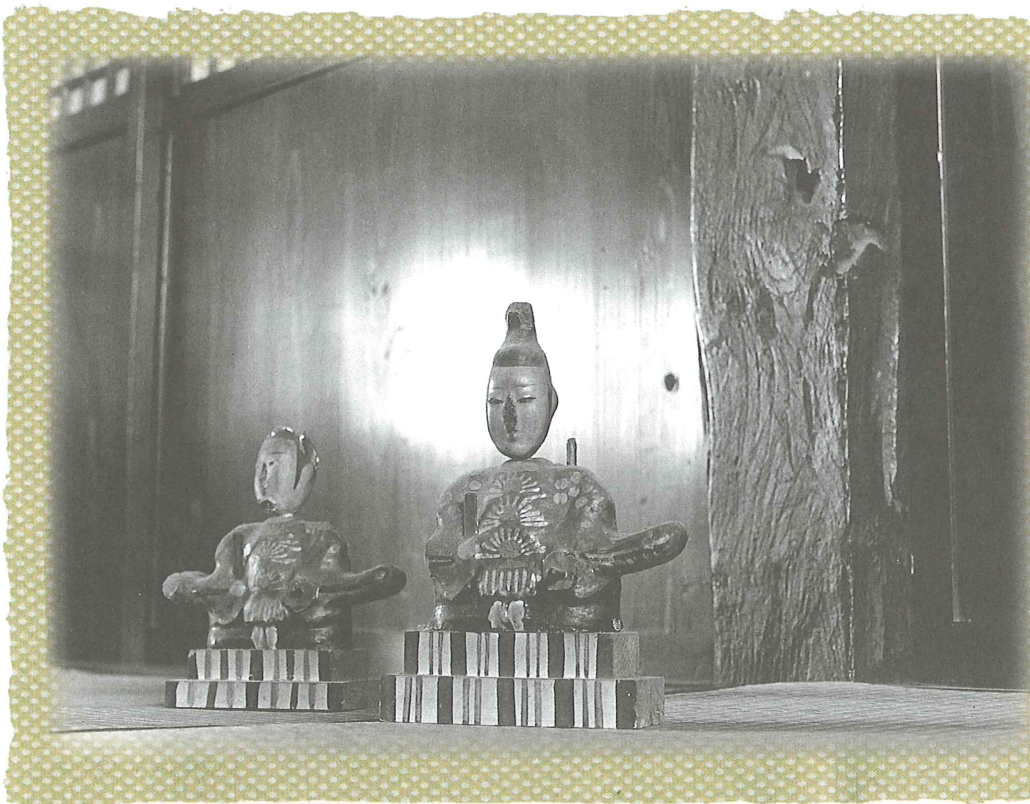
# 祈りを纏う暮らし

## 泥天神

昔から伝わる泥人形。天神のたもとが欠けて久しい。荒々しく力強い大黒柱と対比して鎮座する。瓜実顔の天神さまを、板戸に反射する外光が荘厳してくれる。

(昭和52年3月 三島町西方)

写真・文 竹島 善一





# Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう?

「たまげた」

ヒント：P2. 聞き書きをご参照下さい。

正解者の中から抽選で2名様に、檜枝岐村の「曲げ輪花入れ」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979  
奥会津書房 宛

●応募締切：2013年3月25日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。※クイズの答えは次号74号で発表いたします。



◎72号「めいでん」の答え：「舞殿」

たくさんのご応募ありがとうございました!

# 読者コーナー



## お便り紹介

- 一枚の写真からのへらづくりに驚きです。真剣勝負のものづくりだから手作りのものはいとおいしいですね。(さいたま市 I.Sさん)
- 奥会津だよりが届くのが楽しみです。特に「一枚の写真」で孫さんから祖父母に話しかけて質問する場面、目をつぶると私もその中に居るような気持ちで読んでいます。(柏市 S.Kさん)
- 自然の厳しさやさしさを受け入れて生活してきた人々の知恵を感じます。「薬になる野菜」は私の生活にもすぐ役立つ情報です。(埼玉県 U.Nさん)
- 納豆寝せの記事 懐かしく拝見しました。幼い頃手伝ったあの薫納豆の味、少しすっぱくなった白菜漬けを細かく切り入れて増やし、かまどで炊いた熱々のご飯にてんこ盛り載せて食べた味、忘れられません。(郡山市 S.Yさん)

奥会津だより  
定期購読者募集中

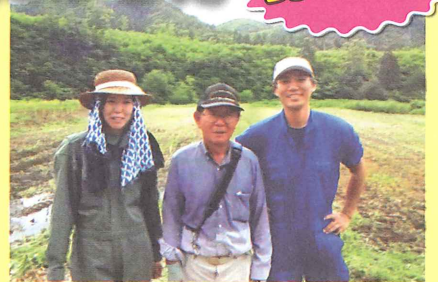
ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。  
問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局  
TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575  
E-mail: webmaster@okuaizu.net

# 奥会津の地域おこしにご協力いただける方

募集中!!

奥会津地域の地域おこしを目指し、各町村で「地域おこし協力隊」を募集中です。「地域おこし協力隊」とは、都市地域から募集町村に住所を移し、地域おこしを目的とした農業や様々な事業に参加する方です。1年間(最長3年間)隊員として従事し、町村から給与が支払われます。

金山町や三島町で順次募集を開始します。詳しくは、「移住・交流推進機構(JOIN)」や、各町村のホームページをご覧ください。



昭和村では2012年より隊員が活躍しています!!

◎JOIN ホームページ：http://www.iju-join.jp/

3月中旬～5月中旬

## 奥会津イベント情報

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
4月13日(土)	新春檜枝岐歌舞伎公演	檜枝岐村	檜枝岐村歌舞伎東雲館4階ホール(檜枝岐村公民館)	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
4月27日(土)～5月5日(日)	からむし市	昭和村	からむし織の里「からむし工芸博物館」	からむし工芸博物館 ☎0241-58-1677
4月28日(日)	沼沢湖周辺施設オープン	金山町	金山町妖精美術館	金山町役場産業課 ☎0241-54-5327
4月29日(祝・月)	久保田三十三観音祭り	柳津町	久保田地区	柳津町役場地域振興課観光商工班 ☎0241-42-2114
4月下旬	高清水自然公園オープン	南郷地域		みなみやま観光株式会社 ☎0241-62-2250
4月下旬～5月上旬	うえんで桜まつり(ライトアップ)	伊南地域	小塩地区	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-76-2517
5月3日(祝・金)～5日(日)	鬼子母神例大祭	三島町	西方地区、鬼子母神・西隆寺	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
5月4日(祝・土)	博士山水芭蕉まつり	昭和村	水芭蕉としらかばの杜(昭和村小野川地区)	昭和村観光協会(商工会内) ☎0241-57-3100
5月12日(日)	第3回飯谷山 山開き	柳津町	野老沢会館前	柳津町B & G海洋センター ☎0241-42-2246
	要害山 山開き	只見町	只見駅前広場集合～要害山	只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5250
	長卸山 山開き	館岩地域	木賊温泉「広瀬の湯」前	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-78-2546
5月19日(日)	愛宕神祭礼奉納歌舞伎	檜枝岐村	檜枝岐の舞台	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
	第48回博士山 山開き	柳津町	式典会場：博士山麓登山口	柳津町B & G海洋センター ☎0241-42-2246
5月23日(木)	尾瀬 山開き(福島県檜枝岐村会場)	檜枝岐村	御池登山口	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
5月25日(土)	御前ヶ岳 山開き	昭和村	御前ヶ岳(昭和村大芦地区)	昭和村観光協会(商工会内) ☎0241-57-3100
5月26日(日)	大嵐山・湯ノ倉山 山開き	館岩地域	湯ノ花「湯ノ花温泉交流センター」前	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-78-2546

# JR只見線 風っこ奥会津新緑号運行

●5月3日(祝・金)～6日(月)

●会津若松駅～会津川口駅間(1日1往復)



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)  
発行日：3月15日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525  
http://www.okuaizu.net webmaster@okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580  
★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。